

R5年度動作法集中研修会(第9回月例会) 報告

マネージャー : 島村 隆博

サブマネージャー : 出井 一紀、内田 佳奈枝

1 日時 : R6.1/6(土)~7(日)

2 場所 : 宮代特別支援学校

3 総合指導 : 緒方 登士雄 先生

4 メンバー構成 :

＜ トレーニー(8名)＞ 直さん(43才)、亮さん(20才)、剛さん(19才)、潤さん(43才)、
大翔君(28才)、翠さん(31才)、暎菜さん(37才)、拓海君(26才)、

＜ 班長・トレーナー・サブトレ(17名)＞ 出井一紀・菅原恵・関洋介、
青木剛士・石坂剛・大谷佳・尾野美由紀・武脇美穂・塚越慶昌・人見太一・平岡菜摘、
小島美稀・佐々木なつみ・土屋なつみ・宮寺享子・本橋陸真・若松翔

5 研修会の経過

＜ねらい等＞コロナ禍を経て、4年ぶりの開催となりました。

参加者は、トレーニーは月例会メンバー以外に他の訓練会から3名、トレーナーは、特別支援学校教員以外にも心理士や大学教員の方も加わり、3班編制総勢30名近くとなりました。

総合指導には、久しぶりに東洋大学の緒方先生をお迎えでき、「身体の動きを通したコミュニケーション」について、実技研修で深めることもできました。

＜1日目＞8名のトレーニー全員を、一人15分程度緒方先生にインテークしていただきました。まずは立位や座位をとって見た上で、「日常生活でどんなことを目指したいか」本人や保護者から丁寧に聞き取った後、必ず動きを通してやりとりされていらっしやいました。

実技研修では、ペアになって、“相手に寄り添う手”からスタートし、相手の動きをどう読み取るか、座位での腰の動き、立位での体重移動とはどういうことか・・・「同じ課題援助を3回繰り返しても、全く同じということはありません。」とのお言葉が印象的でした。

＜2日目＞午前中の動作法では、昨日のインテークや実技研修をヒントに、各班で丁寧になぞっていました。また、午後の動作法では、緒方先生の保護者研修の後、後半30分で保護者も動作法に加わり、“お土産づくり”の時間でした。

2日間、皆さん体調を整え、トレーニーの方々には“式進行”“生活”“タイムキーパー”“受付会計”“会場機器”とに係り分担し、全員で運営に当たってもらいました。

＜研修を終えて＞。

トレーニーアンケートから、「人が集まる賑やかな様子がうれしいようだった。」「向かう途中笑顔が多く楽しみにしているようだった。」「自分の身体に向き合うよい機会だった。」「夜いつもより寝付きがよく、朝すっきりと起きた。」「トイレ介助がいつもより楽にできた。」「研修では、自分の身体で実感できた。」などのお言葉をいただきました。

